

第13回山形大学高校生朗読コンクール

出場者募集

予選課題

高村光太郎「智恵子抄」

第13回を迎える山形大学高校生朗読コンクール、今年の予選課題は詩人で彫刻家であった高村光太郎の作品を取り上げます。

予選課題文は福島県二本松出身の妻智恵子との思い出を詩と散文で綴った「智恵子抄」から選びました。

例年たくさんの高校生に応募をいただいている本コンクール。

今回も東北地方の多くの高校生の応募をお待ちしております。

東北6県の高校生から出場者を募集します

第13回山形大学高校生朗読コンクール

主催：国立大学法人山形大学

本選について

課題：高村光太郎のいずれかの作品（出場者それぞれに朗読箇所を指定）

日時：令和2年8月1日（土）13:00～16:00 予定

（集合時間11:00）

会場：山形大学小白川キャンパス（予定）

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12

応募資格

高等学校、中等教育学校又は高等専門学校（1年生から3年生まで）に在学中の学生で、下記①、②のいずれかの条件を満たす者。

①東北6県に在住

②東北6県の学校に在学

※同一学校からの応募人数制限は設けません。

予選課題

高村光太郎「智恵子抄」（ページ数は現行の新潮文庫版に基づく）
133ページ4行目

「東京の空気は彼女には常に無味乾燥でざらざらしていた。」より

135ページ6行目

「彼女はそのレモンに歯を立てて、すがしい香りと汁液とに身も心も洗われているように見えた。」まで。

なお、途中詩「あどけない話」の引用を含みます。

応募締切

令和2年6月12日（金）（当日必着）